

ベトナム官民合同委員会結果概要

日時：2019年1月18日（金）9:00-12:30

場所：ハノイ工業職業訓練短期大学（HIVC）

参加者数：30人

- 政府(6) 越 DVET Truong 副局長を含め4人
日 厚生労働省構海外協力室長、日本大使館桃井書記官
- 訓練校(11) HIVC、HaUI、HCEM, SHTP-TC, HVCT
- 企業(8) 北部7人、南部1人
- 援助機関(1) JETRO ハノイ事務所 北川所長
- 有識者(2) 内山 聡氏（株デンソー技能研修部長）、
稲川文夫氏（JTB SESPP 事務局技術顧問）
- 事務局(2) JTB 霞が関事業部 風見幸太郎、安藤清美
（日越通訳：Ms. Lan Anh, Nibe Joint Stock Company）

1. 今年度の成果

- (1) 提供した試験基準や試験問題をもとに、DVET が機械加工職種（旋盤作業、フライス盤作業）で職業技能基準の整備、技能評価センターの認定を行い、国家検定を実施したこと。
- (2) 機械加工職種（旋盤作業、フライス盤作業）
 - 2級学科試験問題データベース作成（HaUI）
 - 2級旋盤トライアル（HIVC）
 - 3級旋盤トライアル、評価者認定（HVCT）
- (3) 機械検査職種
 - 3級評価者講習、トライアル（SHTP-TC）
 - 3級トライアル、評価者認定（HaUI）
- (4) 電気機器組立て職種（シーケンス制御作業）
 - 2級トライアル、評価者認定（HCEM）
- (5) 日本技術研修 2週間 3名
シーケンス制御に係る技術指導研修、技能五輪大会の視察

2. 次年度実施に向けた提案（厚生労働省）

- 機械検査：3級学科試験問題データベース作成
企業などからのトライアル受検者数大幅増加
評価者認定
- シーケンス制御作業：実技試験問題作成手法、評価者認定のフォローアップ
- 機械加工：国家検定への定着支援、南部地域への支援
- 日本技術研修：技能五輪大会（愛知）の視察1, 2日を含む

3. 官民合同委員会での主な意見

(1) 南部地域への集中展開

企業ニーズが極めて大きい。機械検査に加え、シーケンス制御もぜひ。機材などすべて整備する用意がある（南部訓練校）。
⇒ニーズに応える必要性は理解。DVET との協議を待って対応（厚労省）。

(2) 国家検定への取入れ促進

国家検定への取入れは何年もかかるが、それでは産業界のスピードに追いつかない。職業技能基準への取入れに先立ち、本事業の技術支援のもとに DVET が試験基準を承認し、直ちに試験を始めてはどうか。機械加工職種では実績がある（北部訓練校）。
⇒取入れは政府の判断であるが、技術的には、ニーズが高い機械検査職種の試験基準（ベトナム語）作りを先行させることで、試験実施が可能な状態にできる（有識者）。

(3) 事業の進め方、見通し等

機械加工職種の国家検定化に際し、本事業の技術的貢献は大きく感謝。日系企業等からの要望も踏まえつつ、他の職種も同じようにつくりたい。技能評価センターの要件なども知りたい。実務のノウハウが試験実施機関に入るのはよいことだが、政策に生かす観点から、各機関は成果を政府に報告するようにしてもらいたい。本事業で行う試験の実施規模については、支援する日本政府の考えも聞かないといけない。（DVET）。

(4) 新規職種について

・日系企業では、機械製図、電気製図のニーズが極めて大きいことを知ってほしい。CAD など操作はできても図面を読めず、技能人材が不足する実態。企業が自助努力で養成するには限界があり、本事業で製図職種を取り上げ、技術指導、評価などしてもらいたい（北部企業）。
⇒ニーズが大きいことは承知。企業などの協力・受検体制、政府の国家検定化の意向などを調べて、候補とする余地はある（厚労省）
・機械加工職種について、CNC などのニーズも大きく対象に加えてほしい（南部訓練校）。
⇒CNC マシニングセンタについては、2013 年に JICA 協力で基準作りをしたはず。政府の制度を一度見渡してほしい（有識者）。